



わくわく

8・4(日)

東京エレクトロンホール宮城

アレルギー Day

2013

学んで

第I部 9:30-12:30

生命と環境を考える講演会



誰にでも身近にひそむ「化学物質過敏症」

講師 北里大学名誉教授 宮田幹夫氏

シックスクール・シックハウスの予防と対策

講師 建築家 尾竹一男氏

食べて

昼食会 12:50-13:50

楽しく食べよう! アレルギー対応スペシャルランチ



みんなであそぼう!

第II部 14:10-16:30

給食を考えるシンポジウム

みんなの学校給食はどんなの?

みんなで話そうアレルギー対応給食



アレルギーの子を持つ親の会
あっぷるんるんくらぶ

〒983-0803
仙台市宮城野区小田原1-4-26-601
TEL.022-292-0355 FAX.022-292-0357

Save the Children JAPAN + 一般財団法人 地域創造基金みやぎ
こども☆はぐくみファンド
本事業は、こども☆はぐくみファンドの助成金事業として
行っております。

第Ⅰ部 生命と環境を考える講演会

時間/9:30~12:30

参加費/500円

誰にでも身近にひそむ「化学物質過敏症」



講師 北里大学名誉教授 **宮田幹夫氏**

東日本大震災後、身の回りではビルの解体、壁のひび割れに接着剤を流し込む修復工事や、壁の塗装、補強工事が盛んに行われています。最近では、朝早くから新しいマンションの建設、学校も、自宅も、職場も、何らかの建築関係の騒音で毎日が始まるという感じです。震災で生活環境が大きく変化中、接着剤やペンキなどの化学物質が原因で、学校などで体調を崩すお子さんが増えています。

阪神大震災から17年の月日が流れ、当時小さかったあお子さん達が高校生、大学生になって新しい校舎に入れず、化学物質過敏症を発症したりする例が出ているようです。子供だけでなく、自分の身を守るためにも、身近な危険や診断、治療、予防法などについて、一緒に学んでみませんか？



宮田 幹夫 (みやた・みきお)

1999年北里大学医学部眼科学教授、現在北里大学名誉教授。そよかぜクリニック院長。微量の化学物質がアレルギーを悪化させることに着目。以降、化学物質過敏症の第一人者として活躍。著書も多数。



尾竹 一男 (おたけ・かずお)

1951年生、1977年 神奈川大学工学部建築学科修了、東孝光建築研究所を経て1981年 尾竹一男建築研究所設立代表、1992年 Healthy Cities Plan OI 研究所代表、2001年 特定非営利活動法人(NPO 法人) 化学物質過敏症支援センター理事。現在は相談役。

シックスクール・シックハウスの予防と対策

講師 建築家 **尾竹一男氏**

安全な住宅作りを研究しながら、化学物質過敏症(CS)について深く学び、多くの過敏症の家族の家作りや改善に携わる。現在もシックスクールで学校に通えなくなった子供達のために、学校の改善に取り組んでいる。数多くの経験から、CS患者の対応には心のケアも同時に必要！と語る貴重な建築家。これまでの貴重な取り組みを紹介します。

東日本大震災後、体調不良を訴える子供が増えている。阪神大震災を教訓に、子供達のためにも、今できる事を学び、実践して行きたいと考える。皆さんの安全な生活空間作りには大変役に立つお話です。行政や建築に関わる多くの方に声がけし、お誘い合わせの上ご参加ください。



第Ⅱ部 給食を考えるシンポジウム

時間/14:30~16:30

参加費/2500円 昼食とセット
シンポジウムのみ場合は1000円



みんなの学校給食はどんなの？ みんなで話そうアレルギー対応給食

これから、小学校に入るお子さんをお持ちのみなさん。現在のアレルギー対応給食ってどこまで進んでいるか知っていますか？ あるいはここまでしか進んでいないのか・・・とも。進んでいるといわれている仙台市でも、まだまだ調理方式(自校/センター)の違いや学校側の判断によって対応に差があるのが現状です。また仙台市外の地域においても、同様にその対応には差があります。

そこで今回は、仙台市の給食対応の歴史と現在の状況をあつがるんくらぶ代表の三田より報告。一朝一夕に進んできたわけではない道のりをみんなで勉強して、今後の学校との話し合いにも活かしていきたいですね。そして、実際の対応の現状-給食センターでの対応や自校式の対応、各地域ごとの違いなどを、パネラーのお母さん方にお話していただく予定です。要望のあるお母さん、グチりたいご家族、嬉しい対応を話したいお子さん。それぞれの地域や、学校の対応をざつぱらんに、みんなで語り合いたいと思います。

▼こんどはじめて小学校にあがるけど不安でいっぱい・・・。ちゃんと対応してもらえるのかな？どこまで学校にお願いしていいの？ こんなこと言われちゃって、落ち込んで・・・。

▼うちの学校の対応って普通なのかしら。他の学校はどうなんだろう？ そんなことも気になっちゃうのよね・・・。



三田 久美 (みた・くみ)

宮城県加美町生まれ。1986年 アレルギーの専門店ヘルシーハットを夫とともに開業。1988年 あつがるんくらぶの前進となる宮城食物アレルギー研究会を創設。その後、2代目代表に就任。小児アレルギー学会会員。現在ヘルシーハット社長。

昼食会 アレルギー対応スペシャルランチ

時間/12:50~13:50

追加の弁当 2000円

アレルギー対応専門店、ヘルシーハットが作る、ちよっぴり豪華な代替食のお弁当とデザート、お茶をご用意いたします。アレルギーのない方も普通に安心して美味しく召し上がっていただけます。お楽しみのデザートは、ミニショートケーキ2種、ゼリー、クッキーなどの5種類の詰め合わせです。

追加のお弁当は2000円でご用意いたしますので、お昼はご家族みなでお越し下さい。家族やお友達と一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。

お食事の後半には、お楽しみのステージが待っています。

今回は、しゃべって、踊って、田植えもできる(笑)、可愛い双子の鶴田(ときた)姉妹をご紹介します。

青森の大学で農業を学んでいる時に、「奇跡のりんご」の木村さんに出会い自然農法を学びました。東日本大震災後、地元に戻り泉区根白石の自宅で自然農法のお米作りを始めました。自然農法の驚く体験談や、今、日本の種が脅かされていること、遺伝子組み換え農作物に潜む危険性(お菓子や調味料、外食等々)、誰でも身近にありながら知らなかったことが勉強できるチャンスです。そして、二人の息のあった「日舞」もお楽しみに！ 勇気ある”有機栽培農家”を当会でも応援して行こう！！東北の子供達の未来を守るために。

☆お品書き

ハンバーグ、ナポリタン、メンチカツ、カレーコロッケ、クジラの竜田揚げ、温野菜サラダ、季節の蒸し野菜、野菜のフリット、野菜の寒天寄せ、マカロニコーングラタン、など

特製デザート盛り合わせ《ミニケーキ2種(イチゴのショート、ガトーショコラ)、ぶどうのゼリー(ゼラチンは使いません)、クッキー2種》

※牛乳・卵・小麦・そば・落花生・エビ・カニ・鶏肉・牛肉・魚介類・ナッツ類・ゴマは使用しません。お弁当には大豆を使用しませんが、デザートには、豆乳クリームを使用します。大豆が食べられない方には別途ご対応いたしますので、お申し込みの際に個別にご相談ください。その他のアレルゲンにも対応いたしますので、お早めにご相談ください。



お弁当イメージ 実際の内容とは異なります

申込方法

お申し込みは電話もしくはFAXでお願いします。皆さんの参加お待ちしております。

TEL.022-292-0355 / FAX.022-292-0357

(電話・ファックスはヘルシーハット気付)

申込締切:7月26日(金)

※保育の申込みがある方、お弁当内容に相談のある方は、なるべく早めにお申し込みください。

託児

お子さんを預けてじっくりお話を聞きたいお母さん、お父さんの為に託児もご用意していますので(有料になります)、必要な方はあわせてお申し込みください。

★午前の部、午後の部、別々にお申し込みが必要です。

第I部 2歳以上 1,500円 / 2歳未満 2,500円

第II部 2歳以上 1,000円 / 2歳未満 2,000円

あっぷるんるんくらぶは、アレルギーの子供を持つ親と大人のアレルギーの会です。

1992年設立。

当時、食物アレルギーがあると全くというほど外食をすることができなかったため、初めて卵、乳、小麦などを使わないフルコースの食事会をホテルで開催し、これまでに数カ所のホテルで開催してきました。昨年で26回目を迎えたこのナチュラルディナーには、アレルギーっ子の家族だけではなく、教育や保育の現場で働く方々、議員、医師など様々な分野から沢山の方が参加し、食物アレルギーを理解するきっかけとなりました。また、食事会を重ねることで、ホテルの食物アレルギー対応も前進しました。



その他、田植え・稲刈り体験・宿泊体験、料理教室など、アレルギーの子供達と親が楽しめるイベントを企画、開催しています。

また、学校給食においては「食物アレルギー対応の手引き」を作成することを仙台市に要望し、全国で初めての「手引き」完成を実現しました。

現在もシックスクール対策など、行政への働きかけを行い、アレルギーがあっても暮らしやすい社会となるよう活動しています。東日本大震災においては、被災地の支援に力を合わせて取り組みました。

平成25年度は、こどもはぐくみファンドより助成を受け、今回の講演会をはじめ、アレルギー講演会や災害対応リーフレットの作成など様々な活動を行う予定です。一人一人が小さくても声を出し、力を合わせて行きたいと思っております。当日は入会受付もありますので、多くの皆さんが参加して、一緒に頑張りましょう！！

会場のご案内

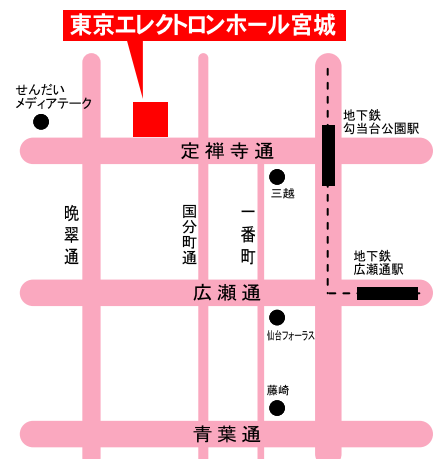
東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)

仙台市青葉区国分町3-3-7 TEL.022-258-8641

地下鉄勾当台公園駅より徒歩約5分。

仙台駅西口よりタクシーで約7分。

お車でのご越しの場合は、お近くのコインパーキングをご利用下さい。



8月4日 わくわくアレルギーDay♪ 学んで 食べて みんなで話そう! 参加申込用紙

FAX 022-292-0357

TEL 022-292-0355

(ヘルシーハット気付)

申込締切 7月26日(金)

代表者氏名	申込日			2013年	月	日
ご住所	(〒 -)	都道府県	市区郡	TEL		
				FAX		

お名前	年齢 <small>中学生以下のみ記入</small>	生命と環境講演会 <small>9:30-12:30</small>		お弁当+給食シンポジウム <small>12:50-13:50</small>		シンポジウム保育 <small>14:00-16:00</small>		金額	お弁当をお申し込みの方で、下記にあげるもの以外にアレルギーがある場合には、ご記入をお願いします(大豆や米、果物等)。対応したお弁当をご用意いたします。 ※卵・乳・小麦・そば・落花生・えび・かに・鶏肉・牛肉・魚貝類・ナッツ類・ごまは使用しません。
		生命と環境講演会 <small>9:30-12:30</small>	2歳未満 <small>2500円</small>	2歳以上 <small>1500円</small>	セット <small>2500円</small>	追加お弁当 <small>2000円</small>	シンポジウムのみ <small>1000円</small>		
記入例	仙台 太郎	○			○			3000	
記入例	仙台 花子			○		○	○	6500	大豆、いちご
代表者									
								合計金額	
									円

参加費用は当日受付にてお支払いをお願いします